

クズモダマ(カマエカズラ)

Mucuna macrocarpa

マメ科

カテゴリー

大分県 IB

環境庁 掲載なし



海岸の崖地や林縁に生える大型の木質つる植物。暖地植物で、本地域が北限となっている。茎は大きく直径20cmほどに達する。蔓は伸び、木々の樹冠をおおって繁茂する。5月中旬、茎から直接30cmほどの花房を下げる。1つの花は小形の玉子ほどの大きさで、多数集まり房になってつり下がる。まれに結実し、15~30cmのさやに数個の円形で平たい豆ができる。崖地の崩壊や植生遷移の進行などによる生育地の環境変化が懸念される。

種子植物

(写真: 荻田和子 文: 真柴茂彦)

県内分布 豊後水道域

分布域 九州(大分・鹿児島), 沖縄
中国南, 東南アジア